

議会運営委員会 会議録（要旨）

○ 開催年月日 令和5年12月1日（金）

午前10時00分 開会

午前11時39分 閉会

○ 場 所 第3常任委員会室

○ 出席委員（9名）

委員長	宮 城 克
委員	山 城 康 弘
委員	上 里 広 幸
委員	平安座 武 志
委員	岸 本 一 徳

副委員長	我如古 盛英
委員	-
委員	石 川 慶
委員	宮 城 優
委員	桃 原 功

議長	呉 屋 等
----	-------

○ 欠席委員（1名）

委員	知 念 秀 明
----	---------

○ 委員外議員（0名）

○ 説明員（0名）

○ 議会事務局職員出席者（4名）

局長	川 上 一 徳
議事担当主幹	平 田 駒 子

次 長	仲 村 厚 子
議事係長	大 城 拓 也

○ 協議案件

1. 米軍横田基地所属C V-2 2オスプレイの屋久島沖での事故について
2. その他

議会運営委員会（要旨）

令和 5 年 12 月 1 日（金）

○宮城克 委員長 ただいまから議会運営委員会を開会いたします。

（開会時刻 午前 10 時 00 分）

【協議事項】

米軍横田基地所属 CV-22 オスプレイの屋久島沖での事故について

○宮城克 委員長 本件について、桃原功委員より開催申入れがあった。所管については、普天間基地所属機によって発生した事故ではないことから、議会運営委員会とし、招集に至った。

はじめに、桃原功委員より趣旨について説明願いたい。

○桃原功 委員 11 月 29 日に屋久島沖で横田基地所属の CV-22 オスプレイが墜落し、現在、乗員 1 名が死亡、残り 7 人が行方不明である。昨日も普天間飛行場ではオスプレイが飛行しているが、CV も MV も基本的な運行上の仕組みは同じと考える。無神経さに憤りを感じるとともに抗議すべきと考え提案した。よろしくご配慮願いたい。

○宮城克 委員長 質疑等あれば伺いたい。

○平安座武志 委員 墜落事故後に米軍が飛行継続していることに抗議したいということか、それとも墜落事故自体に対して抗議したいということか。または両方なのか伺いたい。

○桃原功 委員 両方に対してである。墜落したことにに対して強く抗議したい。合わせて、CV-22 オスプレイが墜落した原因が究明されるまで、本来自重すべきだが、我々の上空を飛んでいる無神経さにしっかり抗議すべきと考える。

○平安座武志 委員 政府、県、市の要請が行われているが、安全確保、情報の提供、原因究明等を求めることは理解できる。日本では初のオスプレイ死亡事故で残りの乗員が見つからない中、墜落に対する抗議には疑問である。市長室のほうへ確認したが、抗議ではなく、安全確認がされるまで飛行しないよう要請したとのことであった。

○桃原功 委員 これまで、軍用機による落下物や事故にさんざん抗議をしてきている。原因究明がされるまでの飛行中止、レポートの回答を示しているが、履行されたことはない。きちんと市民の声を受け強い意志を持って米軍に抗議すべきではないかと考える。

○平安座武志 委員 もう一点確認したい。宮古島沖での自衛隊機墜落事故は抗議していないが、今回は米軍機であるためか。市民の安全上のためであれば違いは何か。実効性ある要請等はよいが、何でも抗議すべきではないと考える。オスプレイは、イデ

オロギーや政治の道具として使われるようなところが見受けられるため確認である。

○**桃原功 委員** 抗議の理由は、C V、M Vの違いはあっても、同等同類のオスプレイが昼夜私たちの上空を飛んでいるからである。飛ぶな、ということをしっかり意思表示しなければいけない。木原防衛大臣は米国防総省に対し、原因が究明されるまで全てのオスプレイの飛行中止を求める発表を行った。それと一緒にである。

○**平安座武志 委員** 最初に聞いたのは、そこである。私も安全性が確認されるまでの飛行停止は行うべきと考える。墜落事故に対する抗議は疑問である。

○**桃原功 委員** 自衛隊機は私達の上空を飛んでいない。オスプレイは毎日のように飛んでいる。そのことに對し抗議しないと逆に、誤ったメッセージが米軍側、日本政府側に伝わってしまうことが懸念される。

○**平安座武志 委員** 事務局へ2点確認だが、意見書と決議の違いについてと、決議は必ず「抗議決議」ということになるのかについて伺いたい。

○**議会事務局** 意見書は、自治法第99条に根拠がある。決議は、それ以外の事実上の行為として議会が意思表示するものである。表題について特段の規定はない。

○**宮城克 委員長** 他になれば、次に、本件の事故の状況について把握するため、基地政策部より説明を聴取してよいか。

（「異議なし」という者あり）（基地政策部入室）

○**宮城克 委員長** ご出席に感謝したい。説明をお願いしたい。

（基地政策部より説明）

○**宮城克 委員長** ただいまの説明について質疑があればどうぞ。

○**岸本一徳 委員** 市長の要請内容について3点伺いたい。1点目、事故原因の究明は地位協定に阻まれているのか。2点目、原因究明がされるまでの飛行停止について過去の事例はあるか。3点目、安全管理の徹底について詳細な報告はあったのか伺う。

○**基地渉外課長** 1点目、地位協定については、現在防衛省から情報提供される中で、現在も乗員捜索中という刻々と変わる一連の作業が終えてからのことになるのではないかと説明を受けている。2点目については、昨年の米本国でのオスプレイ墜落事故の際、米軍が2日間の再点検を徹底するため自ら飛行停止を行っている。2016年の名護市での「不時着水」といっていた件の際は、日本政府の要請に基づき、しばらくの間、飛行が停止された。3点目について、本件は市長からも、自ら情報を取りに行くよう指示があり、何度も防衛省に対して求めた結果の情報が配付した資料にまとめたものである。

○**呉屋等 議長** 2点伺う。事故が起きるときは、機体の不具合か、ヒューマンエラーか、第三的なものが考えられるとされるが、バードストライクの可能性はどうか1点目。2点目として、C V—22が外来機として普天間飛行場に飛来したことがあるか伺う。

○**基地政策部次長** 詳細な報告はないが、バードストライクの可能性はゼロではないと考える。2点目は、C V—22が飛来したことは記憶にあるが、回数等は手元に資料がないため、即答できない。

○**呉屋等 委員** 後で資料として提供いただきたい。

○**基地政策部次長** 確認してご報告したい。

○宮城克 委員長 他にあればどうぞ。

○平安座武志 委員 報道によれば、訓練飛行中に不具合があり、緊急着陸のため向かう途中での墜落とのことであったが、詳細の情報提供はあったか。

○基地政策部次長 資料のとおり、飛行経路は岩国基地から嘉手納基地へ向かう際とのことでそれ以上は把握してない。

○平安座武志 委員 次に、C V—22 とMV—22 は事故率に差があり、構造上は一緒だと思われるが、その要因について把握しているか。

○基地政策部次長 違いは、MVの方は輸送が主であるのに対し、C Vは地形の追従機能、夜間の飛行能力の強化、電子防衛レーダー探知機能等よりハードな使われ方をするため訓練内容など特殊と考えられ事故率につながっているのではと推測する。

○平安座武志 委員 過酷な訓練等によるものという認識は同じであり、確認できた。本件は、日本で死亡者が出た最初のオスプレイ事故であり、市長の要請文でも搭乗員らへの配慮の記載がある。今回は、抗議ではなく、要請という認識でよいか。

○基地政策部次長 要請である。普天間飛行場所属機ではないが同じオスプレイであり、市民の不安を払拭していただきたいとの趣旨である。

○上里広幸 委員 事故当日のMV-22 オスプレイの飛行は確認できているか。

○基地政策部次長 目視で確認している。

○上里広幸 委員 当日及び事故後、何回訓練が行われているか把握しているか。

○基地政策部次長 沖縄防衛局の調査によると、29日の事故後12回、30日の14時30分の間16回、合計28回とのことである。

○上里広幸 委員 その間の基地被害の苦情件数はいかがか。

○基地政策部次長 基地被害110番では、オスプレイに関する苦情11件である。

○上里広幸 委員 先ほど、市長の要請文に抗議の意図はないとのことであったが、書面には、事故後の飛行に対し「到底容認できるものではありません」とある。抗議の意図はないと断言できるのか。容認できないから行っている行動ではないのか。

○基地政策部次長 そのとおりである。

○桃原功 委員 先ほど議長からあったC V—22 の飛来回数は年度ごとに把握しているか。

○基地政策部次長 日頃、業務のなかで、目視により普天間飛行場への飛来は確認しているが、時刻や機種の記録は取っておらず、沖縄防衛局の調査結果の提供が受けられれば、ご提供したい。

○桃原功 委員 私自身も飛来の情報を把握しており、ぜひ提供を受けて欲しい。

○宮城克 委員長 他になければ質疑を終わりたい。基地政策部の皆様にお礼申し上げたい。

(基地政策部退室)

○宮城克 委員長 それでは、本件についての協議の進め方を確認したい。議会運営委員会からの提案議題として意見書提出等に向け、取扱うか否かを各会派持ち帰り検討することによろしいか。

○桃原功 委員 提案者として文案を用意しているが提案してよいか。

○宮城克 委員長 文案は持ち帰り検討するとして今、配付してよろしいか。

(「異議なし」という者あり)(文案を配付する)

○宮城克 委員長 文案について説明願いたい。

○桃原功 委員 「原因究明されるまでの間の飛行停止」については、ほとんど守られていないと考え、それは入れず、強めの要請事項とした。

○宮城克 委員長 審議時間短縮のため、現時点で文案について質疑があれば伺いたい。

○上里広幸 委員 委員長の進行は重々承知だが、手続き上、取扱いを決定してから文案の協議を行ってはどうか。

○宮城克 委員長 それでは、今後の日程について確認してまいりたい。

(議会事務局長より日程案を説明する)

○宮城克 委員長 ただいまの説明に質疑があれば伺いたい。

○石川慶 委員 提案の日程は、本会議2日目の12月7日に上程する日程だが、調整に時間を要した場合の想定はしているか。

○議会事務局 12月7日に上程する場合の日程は、5日までに文案、宛先、要請の仕方を決定していただきたい。

○宮城克 委員長 休憩します。(午前10時57分)

○宮城克 委員長 再開します。(午前11時01分)

○宮城克 委員長 ただいまの説明のとおり、本件の取扱いについて等、持ち帰り検討し進めたい。他に質疑あれば伺いたい。

○呉屋等 議長 次回の議会運営委員会開催時間の確認をお願いしたい。

○宮城克 委員長 休憩します。(午前11時02分)

○宮城克 委員長 再開します。(午前11時03分)

○宮城克 委員長 開催時間について調整したい。

○平安座武志 委員 次回の委員会の所要時間を想定する上でも、一旦各会派で持ち帰り協議した状況を踏まえた方がよいのではないか。

○桃原功 委員 次回予定している5日の本会議開催状況を見て判断してもよい。

(「一任します」という者あり)

○宮城克 委員長 当日判断することで進めたい。

持ち帰り検討いただくための案として、桃原委員より提案したいとのことである。

○桃原功 委員 宛先について意見書は、内閣総理大臣、防衛大臣、外務大臣、沖縄及び北方対策担当大臣、沖縄基地負担軽減担当大臣、外務省沖縄担当大使、沖縄防衛局長。決議は、第三海兵遠征軍司令官および在日米軍沖縄地域調整官、在沖米国総領事、普天間航空基地司令官。要請の仕方については、県内は直接、県外は郵送で提案したい。

○宮城克 委員長 休憩します。(午前11時10分)

○宮城克 委員長 再開します。(午前11時11分)

○宮城克 委員長 次回の委員会は、12月5日の本会議終了後、確認をしながら時間を伝えたい。

【協議結果】

本件について、議会運営委員会提案の意見書として取扱うか否か持ち帰り検討するとともに、同時に文案、要請先等についても検討することに決定した。

【協議事項】

その他（先に提案のある2件の決議意見書案について）

○宮城克 委員長 次に2. その他について何かあれば伺いたい。

○議会事務局 11月28日の議会運営委員会にてマブイ会派から提案のあった、ガザ・パレスチナ市民に対する件及び無人偵察機の嘉手納基地配備の件の2件の意見書は、12月7日の本会議終了後に意見集約する予定となっていることを改めてご連絡したい。

○宮城克 委員長 他にあれば伺いたい。

○宮城優 委員 先ほど事務局から確認のあった、当会派から提案している意見書案について、内容を修正して各会派へ改めて説明して回りたいのでご理解をお願いしたい。

○平安座武志 委員 内容が変わるのであれば、改めて取扱いを議会運営委員会で諮るべきと考えるがいかがか。

○宮城優 委員 タイムなスケジュールで申し訳ないが5日までに各会派に内容を説明するので、当初の予定どおり7日までに意見集約をお願いしたい。

○宮城克 委員長 皆さんいかがか。

○平安座武志 委員 提案の趣旨は前回の委員会で把握したため、文案の修正は配付のみでよいのではないか。

○上里広幸 委員 文言を変えると意味合いが変わるので再度持ち帰りになる。変更内容を説明いただきたい。

○宮城克 委員長 休憩します。（午前11時17分）

○宮城克 委員長 再開します。（午前11時37分）

○宮城克 委員長 マブイ会派から、先に提案のあった2件の決議意見書案については、取り下げたい旨の申し出があるが、そのように進めてよいか各会派の意見を伺いたい。

○石川慶 委員 絆輝クラブは異議なし。

○山城康弘 委員 政進会、異議なし。

○岸本一徳 委員 公明党、異議なし。

○上里広幸 委員 和みクラブ、異議なし。

○桃原功 委員 結・市民ネットワーク、異議なし。

○我如古盛英 委員 じのーんの風立憲・社民、異議なし。

○宮城克 委員長 異議なしと認め、2件の決議意見書案は、取下げとする。

○宮城克 委員長 ほかになければ終わりたいがよろしいか。
（「異議なし」という者あり）

【協議結果】

11 月 28 日に提案のあった 2 件の決議意見書案については、取下げとした。

○宮城克 委員長 本日の委員会を閉会いたします。 閉会時刻（午前 11 時 39 分）